広教 ハートフルケア たてしな

第17号 発行日 2022.7.15



90歳を超えているとは思えないほど若々しくて紳士的な市川様



北佐久郡立科町大字芦田 720-1

TEL0267-56-1955 FAX0267-56-3665

Mail info@hc-tateshina.jp

URL http://www.hc-tateshina.jp

介護老人福祉施設すずらん デイサービスセンターはほえみ デイサービスセンターやすらぎ ヘルパーステーションたてしな 居宅介護支援事業所たてしな ケープ ホーム・デー 付ービスだんらん 障がい者相談支援事業所たてしな 有料老人ホーム徳花苑 施設内保育所キラキラハウス

新職員紹 介

した7名の皆さんの紹介をします。 令和 4年新年度を迎え、新たに入職

Ş

4



1 宮坂 智裕さん

任せします。

6

箕輪町

Ş

4

ります。⑤

想像にお

多いですが、がんば

2 音楽鑑賞・ドラ (とも)

歌 イブ・テレビ鑑賞・ ③ 音楽・うど

⑤ 25歳 ⑥ 立科町地域の皆様のお役に立ちたいです。 微力ではありますが、立科、佐久 ん・そば・実家の味

Ş

30

(5)

50代半ば

6

丸子出身浅科在住

şŞ

2 3

バレーボール

からあげ

内堀

洋志さん

4



1 瀧 沢 歩さん

(歩ちゃん)

Ş

50

Ş

\$

Ş.

10

2 3 ての業種でお勤めで 犬と猫 ④ バレーボー 初め

の利用者様の支援頑張ります。 す。有料老人ホー A



1 滝澤 (まさ子さん) 雅子さん

6

(5) もちゃを作ること カステラ、手作りお ? Щ ロールケーキと 6 ④ 細くても 栃木県

(5)

3 2

歳

6

佐久市

長く働き続ける

張ります!

でいただけるよう頑

4

利用者様に喜ん



3

アイスクリーム

不慣れなことが

バレーボール 清水ひとみさん

1 H i l l 尚 村美津子さん V i l g e

3 2 ガーデニング ュラルガーデンに 家の周囲をナチ ガーデンめぐり、

れば。 想ですが) して豊かな老後を送りたい。(多少妄 ⑤ 非公開 4 微力ですがお役に立 ⑥ 佐久市



1 両角文美代さん (モロちゃん)

れ 2 料理・花壇の手入 体調を崩さない 3 ラーメン 甘~いお菓

よう元気に過ごす 長野県の山の上 (5) 60 歳 + α

1 得意なこと ③ 負 名前(ニックネーム) (5) 年齢 6 好きなも 出身地 $\tilde{\mathcal{O}}$ 2 趣味や 4

技能実習生来日

1 スミヤ ッニン (ニン) さん



登ること。 映画を見たり、 ることは得意。 本を読んだり、 我慢 山に で き

ク(motor r b i バイ

福祉士になりたい。⑤語がぺらぺらになりた うにしっかり覚えて頑張ります。 k е 4 介護 \mathcal{O} 仕事を上手になるよ \ \ \ **\ つか介 日本

1 マー カイン(カイン)さん



3 を学んで介 き 士になりたい。ミャを学んで介護福祉さを見るのが好しさを見るのが好しました。 旅行、 料

活 か し ー てミャンマー に 0 たら 3 3 歳 日 の介護制度を発展 本で学んだ知識

1 日] ンワディリン (リン) さん



3 口 るの たいものを食べ 旅 が 行に行って食 楽を聴くこと 好き て

4 ことを学ん 介護につい で介護福 7 \mathcal{O}

目的 い社。士 す。 のを最後まで一次 何も簡単にあた 工試験に合格して 2 1 単にある 生懸命 きらめないで自 て長く日本で働きた 頑張ることで 分の

「ミンガラーバー!(こんにちは)」

来ました。 ってハートフルケアたてし 実習生3名 日が遅れ 5 月 面 待っていまし \mathcal{O} 2 5 笑顔 日 7 で「お待たせしましましたよ」と声をか が、 ましたよ」と声をかけると最初に彼女たちに会った時 いたミャンマー コロ 大きな荷物と希望 ナ 感染 症 なにやって からの技 \mathcal{O} た」と 響で来 を持 能

n

りま 次の日から、すずらん言ってくれました。 はペンを片手に早く覚えよ 職員から入居者様の様 での 実習 子を 入



たし 紹介では「ビ モを取 す。 2 日 しました。 書くこともでき を覚え、 入居者様 ていてビックリ から来ま と声を 生 漢字 てい \mathcal{O} 目 縣 名 に で前 か ル は

を学ん ー」という国 けていま できたそうです。 した。 名は 高 認識 齢 者 には され 「ミャン 7

うぞ」とやさしく介助します。 組ん や排泄・入浴介助と日 食事 でいます。 の介助では 「朝ごは Þ 積 λ です。 極 <u>|</u> 的に 腔 取ケ

ができています。これから3年間、新分たちが行っている介護を見直すこと ことを学んでいけるよう私たち職員も できています。 きたいです。 1 技 , 仲間, 能実習生を受け入 ながらしっ 優 く見守 かりとサポ り、 れ たことで、 たくさんの トし

すずらん

す 6 ず月 学 5 ら10月 信 日 日 ま 期佐 で か 5



を
著 た。 学 の 護 \mathcal{O} ス な行 ど導き出し介護店者を決めて、 に ユ 職 1 取り方や一人ひとりに ニット ŧ ま 支援方法を学ぶため、 2 高齢 種 との L 年生2名が が加しました。 た。 i者とのコミュニ 連 護計 携を 施設で働 計生画活 介護 知 やカ 「 の 立 場 9 実習 てもらうため 1 ンファレ て 案面 合 いる様 か 担] • 2 ション 来ま 実施課で 5 当 題 入介 を 々

する を行 記 入し 振 11 じます。 ŋ 返り 1 日 者か初様らめ 小る لح \mathcal{O} 声 学 終 にか か掛 は U わ 対対ス緊張 や課 りに

を

日

誌に

て

て実習 生は、

毎日

其

体

的

な

行

動

目

標

を

目

対

さ 0 が

> 重 5 実 士 な時 職員 を育てるという教育 にとっ 間 が 介護 感じ でした。 お 互. 現場で ても らい れ笑 ま 大 顔 働 変勉 しが いている私た - 環を担う - 下である **の** 11 見

を学ぶことができました。かり、慣れてきたところでわり、慣れてきたところで感じています。利用者の皆感じています。利用者の皆 で学ぶことができた、、、 が助の仕方、利用者さんとの接し方わってしまうのが残念です。実際のわってしまうのが残念です。実際の ござい 7 小林侃史さん】 1 まし ま たが、 した。 今は 初 め 17 短 者の皆さん は 日 か長 間 9 1 あ の接し方の接し方の接し方の接し方の なと り が 思

ございまし 皆さんがやさしく教えてくださいま 【菊原達也さん】17日間ありがとう た。最初は不安でしたが、 した。今回 \mathcal{O}

方つ助 から本格 からもできない。 が \mathcal{O} を行い、一 今回学ん 生か 動 分 か作 り 的 頏 \mathcal{O} まやっに実 てこ だこ 張

ほほえ み

に柏 ほ ほ え ŧ 5 4 生作は りを行 10

一い目 1 こを生地 利用 つ手作 者様にはあ で包 <u>-</u>りで行 地 から

さいも楽 悦 葉を巻いていただきました。 らっしゃいました。 楽しそうな表情 で召し上がってい 丁度よく、とても美味 で、 ただきまし 生地の触感や甘 柏もちを作っ ľ 1 た。 とご 満

色 ッピングをする事で素敵なカー F 13 しました。 ンが完成しました。 つきの紙と針金で作成し、 日に 少 ĺ 遅 は めの 力 母 花びらや茎の ネーションをプレゼン の日になりました 感謝 部分は一 \mathcal{O} 気持ちを さらにラ が、 両 面



込め 利用者様に ちになりました。 ける行事を とても喜んでい こちらも暖かい気持 7 お しし 。今後も、 で たとこ ただ

やすらぎ

5 月 の ました。 る季節の花 やすらぎでは 壁面に飾 を作成し 藤



で形作り、 葉は色画用紙 ピンク・紫 花び

的な形に丸め、長さ30 プの左右に出来上がった花びらを貼 ていきました。 • 青・白色の折り紙を使って立 ㎝ほどの紙テー n

で「手づくな」がお好きな男性利 の多さに驚きました。 利用者様は同じ色1色で統一され えれていました。今回の壁紙づくり色とりどりに貼っていく方と個性 用 者

足を止めてじっくりと眺 で下さってい が入浴に向 来上がった藤の花を飾ると、 かう途中、 、ます。 脱めながら液藤の花の水 ら楽し 皆さ

今年度も季節に応じた作品作りを行 いきます。



すが、 ことで、 開 ように感じています。 始しています。 症通所介護事業 だんらんでは、昨年度から共用型 活気が出て、 入所者様と同じ空間を利用する お互いにより良い刺激を受 出来ることが増えた 定員3名の小規模で (デイサービス) を 認

います。時には職員の手助けが必要な仕事があっという間に終わってしただりすることに大勢の方が参加される 慣れてきたことなので、 話されています。 に参加され 場 面もありますが、 家事作業の洗濯物を干したり、 時には職員の手助けが必要な 「もっとないだかい?」と 日々の生活でやり 皆様楽しそう 畳 ま ん



付けも一緒に行ャガイモの植え ち」と賑やかな 日を過ごしてい き始めました。 い、今では花が ゆっくりぼちぼ いと思い また、春先に 、ます。 咲

有料

徳花

茄

をつなぎ部屋へ案内していました。せたらその心配は取り越し苦労で、手 れた方は「覚えていてくれるかなあ」ての入居でした。それぞれ先に入居さ 夫婦 きま と心配されていましたが、お顔を合わ 等で生活されていました。入居日はご 居されるまでの半年間は 5 同じ日でなく1週間あまり離れ した。ご夫婦の方が2組 月 末で4室6名様に 別々の 入居 です。 1 施設 ただだ

よ」と優しく言っておられました。 が奥様がとなりで「そんなことはな なこと何十年ぶりと言っていました りお祝いしました。ご本人様は、こん 使い、生クリーム入りのどら焼きを作 5月の誕生会は、ホットプレートを



んので、施設内で でなかなか外出 るようにし 行事を多くして コロナ感染防 ** \ 生活が送れ す止

避 難 訓 練

6 7 L 月 な 2 5 3 0 \mathcal{O} 1 日 西 フ に ル 工 澼 IJ ケ 難 東 ア T 訓 工 で た IJ

日



ま 屋 た。 で 11 は ま なく施 た。 設 両 内 日 لح ŧ \mathcal{O} 避 猛 層とな 難 に変更 ŋ

> 講 域 思

を

ま 房 水れ . る 芦 カン 害 東 た。 5 訓 工 田 IJ \mathcal{O} 練 出 を][[T 実 で 火 が 施 を 氾 は 想 濫 昨 定 ま 年 L た L \mathcal{O} こと た 秋 が を 災 は 今 訓 想 東 練 口 定 側 Ĺ は を に 厨た流

なる きるよう 際に役立 ただきま Ш 成 西 練 功 消 \mathcal{O} す 防 署 時 る た。 こと 7 情 \mathcal{O} ほ 気 職 報 が \mathcal{O} 員 くこと さ 共 重 ん 有 要 をし で などと講 カン とが、 あ 6 る。 0 か 初 有 り 事度 期 での重 消



昨

年

秋

 \mathcal{O}

訓

練

で

入

居 助 用 者 7 難 1 7 役 す 階 ツ \mathcal{O} る様 1 職 か 6 を 員 使 2 を 用 救

予 防 玉

行 座 \mathcal{O} 11 で K な 方に 介 ま 0 在 7 す 護 情 \mathcal{O} 開 向 1 子 報 健 ま 催 け 防 \mathcal{O} 康 宅介 7 12 中 状 取 か 態 らご自 護 Ŋ を 支 護 組 維 援 ま 1 持 身 防 フ 事 れ す に ル \mathcal{O} 7 る . 合 啓 S 所 1 た れ る 0 発 で た方 ŧ \Diamond あ か 活 لح 動 地 11

> な な

法様

ます。 心と すると、 ると言 V 1 前 体 健 ル 号 わ フ 康 \mathcal{O} \mathcal{O} とは、 おさら 要 レ 動 れ と きが 介 1 要 て 11 介 護 ル 状 に 護 ま 弱 1 す。 態 < を 早 \mathcal{O} に な 重 を 中 な 気 間 ね 0 1) た状態 ます が ぐことが \mathcal{O} ること 付き対 状 が をさら \mathcal{O} ょ 策 で フ V)

 \Diamond ま Н が 宅 ょす。 増え 今回 ŧ で ス \mathcal{O} Е 座 Р テ 口 IJ ことを O 7 0 は 7 Р VI る方に でも テ ム コ 目 が ツ ヒ V 口 ナ 体 的 ビ 簡 あ とし など 向 禍 ユ 操 単 ポ ツ け で を見 在宅 た 体 て、 健 を ス ス 1 な ワ 口 康 動 7 増 を どこで] V カ 1 る時 紹 ラ 進 ツ す ク チ 複 機 \mathcal{O} 介

> れ 10 7 分 で ま 運 す 動 が 完結するように 作 成

る運 す が 呼 ヒ 左 吸 \Diamond 動] 6 \mathcal{O} です。 を心 IJ IJ 义 です。運動 ング」で、 は ズ が ムに 運 け 動 まし X . 合わ 中 座 は息を止 よう。音楽 せ ユ て行う た姿 \mathcal{O} 勢 \Diamond ず自 を \mathcal{O} 行え t フ 聴 然 き お ツ

 \vdash

4 あ 興 味 1 水を持た せん 講 座 か。 12 れ 参 た方 加 L は、 7 緒 に 1 実 フ 践 ル S L

n

7

居宅介護支援事業所 たて L な

フットヒーリング

足首、指 各20回

- 座った姿勢から両膝を 伸ばし、足首を上下に 動かします
- 足の指の曲げ伸ばしも 行いましょう
- 可能であれば台の上に 足を乗せて行うと、よ りリラックスできます



第10期 資金収支計算書の要旨

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日 (単位:千円)

	科目	本年度	前年度	比較増減
1	事業活動収入計	679, 163	652, 980	26, 183
2	事業活動支出計	570, 476	553, 901	16, 575
A.	事業活動資金収支差額(①-②)	108, 687	99, 079	9, 608
3	施設整備等収入計	0	30	△30
4	施設整備等支出計	150, 067	64, 432	85, 635
В.	施設整備等資金収支差額(③-④)	△150, 067	△64, 402	△85, 665
(5)	積立資産取崩収入計	86, 170	0	86, 170
6	過年度損益修正・長期貸付・出資金・積立	22 202	16, 346	5, 956
	資産支出計	22, 302		
C.	その他の活動資金収支差額(⑤-⑥)	63, 868	△16, 346	80, 214
1	資金収支差額合計(A+B+C)	22, 488	18, 331	4, 157

第10期 貸借対照表の要旨

(令和4年3月31日時点) (単位:千円)

【資産の部】	本年度末	前年度末	【負債の部】	本年度末	前年度末
① 流動資産	465, 565	371, 877	流動負債	167, 755	94, 695
現金預金	357, 935	268, 259	固定負債	1, 497, 061	1, 558, 420
事業未収金	105, 609	101, 135	③ 負債の部合計	1, 664, 816	1, 653, 115
その他の流動資産	2, 021	2, 483	【純資産の部】	本年度末	前年度末
② 固定資産	2, 276, 525	2, 424, 257	基本金	200, 000	200, 000
基本財産	2, 203, 305	2, 266, 626	国庫補助金等特別積立金	1, 078, 496	1, 131, 782
(土地)	(225, 068)	(225, 068)	次期繰越活動差額	△201, 222	△188, 763
(建物)	(1, 978, 237)	(2, 041, 558)	(うち当期活動差額)	$(\triangle 12, 459)$	(△ 28, 510)
その他の固定資産	73, 220	157, 631			
(内、施設整備修繕積立、	(0)	(55,000)	④ 純資産の部合計	1, 077, 274	1, 143, 019
備品購入積立資産)	(0)	(10,000)			
資産の部合計 (①②)	2, 742, 090	2, 796, 134	負債及び純資産の部合計 (② 十④)	2, 742, 090	2, 796, 134

トマトの丸ごと煮



え、 の代わりに市販の白だしや昆布と鰹節で食べるのもお勧めです。(※だしの素 込む。お好みで青じそやバジル等を添入れ落し蓋をして30分程じっくり煮 り除く。②鍋にトマト、水、調味料をヘタをくり抜き、湯むきをして皮を取油少量【作り方】①トマトはよく洗い 菜です。ビタミンCは熱に弱いため、より 栄養素が含まれ比較的カロリーが低い野 カロテノイド、食物繊維、カリウムなどの ます。)トマトにはリコピンやビタミンC、 本格的にだしを取ると一層美味しく作れ 0 多くのビタミンCを摂取したいならば、火 を通さずサラダに。他方で、リコピンは加 【材料 日 СС 汁ごとお召し上がりください。暑 は冷めてから冷蔵庫で冷やして ・だしの素適量 · 3個 分】トマト3 ・みりん 個 少量・醤 水20

熱することで、よりスムー 栄養素に応じて、調理方法 ズに体内に吸収されると言 を変えるとよいでしょう。 われています。摂取したい

> 表紙 0 題字 ょ

婦で入居されました。 5月上旬に有料老人ホームへ、ご夫

ち、 被害を受けた立科町の道路 け就職し、 地元立科町の建設会社からお誘いを受 った運転免許を持っていたことから、 旧にあたられたそうです。 市 昭和33年頃はまだほとんどい 川壮一様は、土木工事技術 当時の伊勢湾台風で大きな 河川 なお持 の復

いみ用 ました。 70歳過ぎまで勤め、 の田んぼを70アールほど作って 家業である種 ŧ

して作っていただいているそうです。みが出るようになり、田んぼはお願い90歳に近づいてきたら股関節に痛

楽しんでいたそうです。 道会」に属し毎月の例会で仲間と書を ており、 書道については、 90歳近くまで地域の 若いときから行っ 「たて書

ら使い慣れた筆を持って来てもらい書い」と謙そんされていましたが、家か きあ お願いしたときは、 げていただきました。 いましたが、家か、「もう無理だわ

と寄付



二大根、 レタス、玉ねぎ、二十日大根、ミ 現金、五月人形、古新聞、 お菓子、 トマト苗 タオ ル

編集後記

てしまっています。 食品など、値上がりの連絡が次々に来て 物価高の話題を毎日のように聞く今日こ ど、日常生活に無くてはならないものの 「また?」「これも!!」とつい言葉にし 頃です。 ガソリン、電気、 施設のほうにもオムツや補助 ガス、 様々な食品

0

え、 たいと思います。 うに」と願いを込めながら、 かけているからとのことです。 的に経済活動の再開が進んだことに加 は て節電・ 使う・ 七夕の短冊に 原因は新型コロナウイルス禍から世界 さらに円安が価格高騰に追い打ちを ロシアによるウクライナ侵攻も影 不必要なものは使わないように 節約を心がけ乗り越えていき 「物価高が続きませんよ 必要なもの

広 **公報委員** 岩下